

令和 5 年 5 月 9 日

県内新設住宅着工戸数の令和 4 年度の様況 について

令和 4 年度の県内の新設住宅着工戸数は前年度比 5.7%減の 5,337 戸となりました。その概要は次の通りです。

令和 4 年度の新設住宅着工戸数について

本県の令和 4 年度の新設住宅着工戸数は 5,337 戸で、昨年度の 5,660 戸に比べてマイナス 323 戸、5.7%減となり、5 年ぶりの増加となった昨年度から再び減少する結果となりました。利用関係別戸数の内訳をみると、持家が 8.0%減の 2,842 戸、貸家が 0.9%増の 1,833 戸、分譲住宅が 16.4%減の 608 戸となりました。

また、建方別の内訳では、一戸建が 8.1%減の 3,348 戸、長屋建が 12.8%増の 946 戸、共同住宅が 11.3%減の 1,043 戸となりました。

令和 4 年度の新設住宅着工戸数は、建設コスト等物価上昇の影響を受け減少したと考えられます。

今後の動向としては、建設コスト等の高止まりの影響はあるものの、住宅ローン金利が低水準であることや住宅ローン減税などの住宅取得に係る経済対策が行われていることもあり、今後の動向を注視していく必要があります。

関連資料

県内新設住宅着工戸数の令和 4 年度状況について〈表・グラフ等〉(PDF : 441KB)